

第61回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年8月3日（水）13：30～15：00

2. 会場：原則WEB参加

3. 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会 会長

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
三須 康男	危機管理防災部長
金子 直史	福祉部長
山崎 達也	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長
岸本 剛	衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 病床のフェーズについて

- 病床のフェーズについては、感染者急増時体制へ移行するのではなく、フェーズⅣ体制の拡充とするのが良い。その際は、①早期退院の判断の目安4日間の周知徹底と促進、②医療機能を強化した宿泊療養施設の病床的運用、③高齢者支援型臨時施設の設置、④下り搬送、後方支援医療機関への転院の促進、を十分に行うこと。（岡部委員、金井委員、松田委員）

【県の対応】

- フェーズⅣ体制の拡充を行う。

イ 入院の基準について

- 基礎疾患の重症化は、きっちり拾っていくべきだろうと思うので、柔軟に対応いただきたい。（川名委員）

【県の対応】

- 提示した入院リスク表に基づいて運用を行う。

ウ 埼玉県におけるBA.5対策強化宣言の協力要請について

- 換気について発信をしていくべきである。（坂木委員）
- スーパーマーケット等での買い物時は、必要最小限の人数でということ
を推奨すべきである。（近藤委員）

【県の対応】

- 県民の皆様の要請は法に基づくものとして実施をする。
- 換気については学校等へ徹底を行う。
- 買い物時の対応についても、働きかけを行っていく。